

バファリンの半分は優しさ、その正体とは？

リビングサービス課
北田 祥一

ある一定の年代以上の方は聞いたことがあるであろうバファリンのCMでお馴染みのフレーズ『バファリンの半分は優しさで出来ている』の『優しさ』について解説します。

問題:バファリンの半分である「優しさ」とは何？

- A. 開発者の気持ち
- B. 価格が安い財布に優しい
- C. 薬が早く効いて欲しい気持ち
- D. バファリンに含まれる成分

※答えは解説の中から探してみてください。

皆さんはバファリンの半分は何で出来ている？と聞かれると、何を思い浮かべますか？ バファリンのCMで有名なキャッチフレーズ『バファリンの半分は優しさで出来ている』を思い浮かべるのではないのでしょうか？
しかし「優しさ」の正体って気になった事はありませんか？

バファリンに含まれている成分

まずはバファリンに含まれている成分について調べました。ちなみに「バファリンの半分は優しさ」のCMはバファリンAのCMのため、バファリンAの成分となります。

●アセチルサリチル酸(アスピリン)…330mg ●合成ヒドロタルサイト(ダイバッファーHT)…100mg

バファリンA1錠の成分は大きく分けてこの2つになるようです。それでは、この2つの成分にはどのような効果があるのでしょうか？

アセチルサリチル酸(アスピリン)

バファリンAの主な成分はアセチルサリチル酸（アスピリン）となります。

主な作用として「炎症、発熱、痛み」を引き起こす物質である「プロスタグランジン」が作られるのを抑制する効果があるようです。このため、炎症やそれに伴った腫れや痛みを和らげて熱を下げてくれるのですね！

しかし、この成分には副作用が存在します。それは、胃腸への負担が大きいということです。注意書きにも空腹時の服用は避けるように書かれているのはそのためなのです！

また、胃腸がもともと弱いという方についても服用の際には注意が必要です。

合成ヒドロタルサイト(ダイバッファーHT)

続いては、2番目に多く含まれている合成ヒドロタルサイト（ダイバッファーHT）について解説します。

主な作用は胃酸を中和して、胃の粘膜を保護することにあります。さきほど解説したアセチルサリチル酸の副作用である胃腸への負担を、合成ヒドロタルサイトが軽減してくれるということですね！

また、アセチルサリチル酸はなかなか胃の中で溶けない成分のため、合成ヒドロタルサイトが吸収を助けているそうです。

『優しさ』の正体とは!?



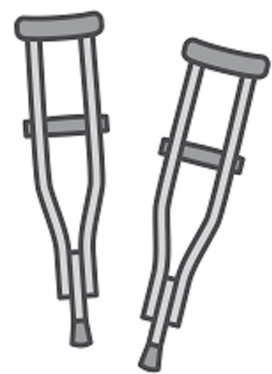
つまりバファリンの「優しさ」の正体とは「胃腸への優しさ」、つまり「合成ヒドロタルサイト」のことだったのですね！

しかし、バファリンAを構成する成分のうち合成ヒドロタルサイトは1/4程度しか含まれていないため、厳密には半分ではないですね…「半分も優しさが入っていないじゃないか！」という視聴者からの指摘を受けたのか、実は最近のCMではあのフレーズが使われていないのです。「バファリンの半分は優しさ」から「半分は胃に優しい成分です」というキャッチフレーズで放送されるようになりました。ということで正解は『D.バファリンに含まれる成分、合成ヒドロタルサイト』でした！ 注：服用の際は用法・用量を正しく守りましょう。

参照: <https://kerokero-info.com/2016/11/19/post-2601/>

入院体験記

総務課 福島 秀明



1月2日は天気も良かったので、自転車でボタリングを楽しんでいました。反対側に歩道がある道路にさしかかり、その先を右折するつもりでしたので、道路を横断して歩道に移ろうとハンドルを右に切りました。歩道に入った途端、何が起こったのか、ハンドルを取られ、自転車のコントロールが効かなくなり、とっさに何も出来ずそのまま地面に叩きつけられてしまいました。

ヘルメットを被っていましたが、少し擦り傷があり、痛みもありましたので、しばらくは歩道に座り込んでいました。しばらく経って、歩道にあった柵につかまって立ち上がり、自転車に乗ろうとしたのですが、乗れません。自転車を押して歩こうとしたのですが、一歩も踏み出せません。足が動かないのです。

これはおかしいと、家族に電話をして、迎えを頼みました。迎えに来てくれても、車に這いながら乗り込むような状態です。そのまま病院へ直行しました。

足を少しでも動かすと痛みが酷く、病院の車椅子に乗るのも一苦労でした。痛みに耐えながら、レントゲンを撮り、次にCTも撮りますと言われたのですが、何故か、ベッドに寝かされての移動となりました。横になってしまえば、痛みはあまりありません。

その後、ベッドに横になったまま、医師からレントゲンやCTの画像を見ながら説明を受け、左側の骨盤が骨折しています、このまま入院です、4日に主治医から治療方針等の説明があります、と言われました。

ショックでしたが仕方ありません。辛い入院生活の始まりです。当分の間は、絶対安静でベッドに寝たまま、30度以上体を起こしてはいけません。体は動かせず、食事寝たまま、トイレにも行けません。寝ているだけならどうもありませんが、左足を少しでも動かすと激痛が走ります。コロナの影響で、見舞いはもちろん、家族との面会も禁止です。会社は正月休み中でしたが、3日に電話をして、怪我で当分休むことを伝えました。

4日に主治医から説明があり、全治三ヶ月、手術の必要は無く、自然治癒で、痛みが落ちついて来たらリハビリをしていく、入院期間は4週間程度との話でした。体は30度から、90度近くまでを起こせるようになりましたが、左足の痛みは酷く、寝たままの生活が続きます。

5日からリハビリが始まりました。平日ですが、毎日あるとの事でした。理学療法士さんが病室まで迎えに来てくれ、車椅子でリハビリ室へ移動するのですが、最初は足の痛みで、一人で車椅子にも乗れませんでした。

初日は平行棒に掴まって立つことから始まりました。左足に体重をかけてはいけないので、左足は床につけられません。両腕と右足で体を支えて立つのですが、少しの振動で左足に激痛が走ります。痛みに耐えながら、ストレッチや、平行棒を掴んで片足で何でも往復しました。

翌日から、松葉杖で歩く練習が始まりました。松葉杖を使うのは初めてで、歩くのも怖々です。10日頃には足の痛みも少し和らいできた事もあり、松葉杖で歩く事にも慣れてきました。徐々に歩く距離も長くなり、階段の上り下りの練習も始まり、リハビリは順調に進んでいました。その頃には、車椅子に自力で乗れるようになっていました。

19日に会社からパソコンが届き、リモートワークで仕事もするようになりました。

24日には松葉杖で洗面やトイレに行けるようになりました。足の痛みも殆ど無くなり、足に違和感を覚える程度にまで回復してきました。もう少しで次の段階に進むという話をしていたのですが、コロナの関係で25日以降りハビリが中止となってしまいました。病院に居ても、リモートワークで仕事をしているだけの日々になりました。

その後、主治医の退院許可が出ましたので、1月30日に退院し長い入院生活が終わりました。

退院してからも、家にこもって、リモートワークで仕事をしていました。

2月14日からリハビリが再開しました。最初は松葉杖で歩く練習だけでしたが、何度か通ううちに、左足に徐々に体重をかけて歩く練習が始まりました。左足に体重を1／2までかけて良くなった段階で、松葉杖を付きながらですが、2月22日から会社に復帰することが出来ました。

それからリハビリに通院し、3月7日には、松葉杖無しで歩けるようになり、3月14日で病院でのリハビリは終了しました。

未だ完治した訳ではありませんが、普段の生活が戻ってきました。

病院では、看護師さんが親身になって世話をしてくれました。家族に心配をかけ、会社にも大変迷惑をかけました。それでも皆が優しい言葉をかけてくれます。怪我で辛いことにはなりましたが、今は感謝しかありません。人の優しさを感じられる、貴重な体験となりました。

